

# 一日パン屋さん開店

## 宇土障害者作業所「なずな工房」

富合町杉島にある障害者の小規模作業所「なずな工房」(村上佳代代表)が10日、宇土市善道寺町の宇土シティ食品ゾーンで「一日パン屋さん」を開店する。「形はまちまちだけど、一つ一つ丁寧に作ったパンをぜひ食べて」と来店を呼び掛けている。【阿部周一】

同工房は、県内の知的障害者入所施設に勤めていた村上さんの引継ぎで、今年4月に開設した。現在、知的障害者ら2人が通うほか、養護学校からの実習も受けられている。

工房には業務用オーブンがあり、そこで焼き上がるパンは普段、同町役場や地元の商店などで売られている。今回、宇土シティが約30平方メートルの場を無償で提供。1日限りだが、初めての売場が決まった。

販売時間は午前10時から売り切れまで。あんぱんやハム入りパン、ぶどうパンなど、手作りの菓子パン約500個をすべ

続けられた。村上代表は「自分たちの作ったパンを買ってもらい、おいしく食べてもらうことが障害者たちにとって何よりの励みになり、社会のシステムを勉強するいい機会にもなる。店に来て、私たちの活動を知ってほしい」と話していた。

パン作りの過程を紹介した写真を掲げるなずな工房の実習生

